

令和元年 第8回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 令和元年（2019年）8月22日（木） 午後2時00分～午後2時50分

2. 場 所 総合教育センター 2階 講座室

3. 出席者 <教育委員会>

教育長	木下 誠	教育委員	秋田 久子
教育委員	江原 礼子	教育委員	川崎かおり
教育委員	川畑 徹朗		

<事務局>

教育次長	二宮 叔枝	学事課長	蓼原 惠
教育総務部長	山中 茂	総合教育センター主幹	永嶺 香織
学校教育部長	佐藤 幸宏	保健体育課長	中江 洋忠
こども未来部長	大野 浩史	こども若者企画課長	藤澤 早苗
生涯学習部長	村田 正則	幼児教育推進課長	矢田貴美代
教育長付参事	多田 勝志	教育保育課長	大村 寿一
こども未来部参事	馬場 一憲	社会教育課長	吉岡 督典
学校教育部副参事	廣重久美子	スポーツ振興課長	古結 孝広
総合教育センター所長	太田 洋子	図書館長	中田 正仁
人権教育室長	浜田 律子	人権教育室主幹	森口 真一
職員課長	植松 俊二	少年愛護センター所長	上田 誠司
施設課長	宮木 哲男	教育政策課長	木村 克治
施設課主幹	巽 正樹	教育政策課副主幹	石田 亮一

4. 欠席者 なし

5. 傍聴人 1名

6. 議 事

(1) 開会宣言 木下教育長（午後2時00分）

(2) 日程報告 木下教育長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。

日程第 1 令和元年度第7回定例会会議録及び令和元年第3回臨時会会議録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議案第54号の審議

日程第 4 報告第8号の承認（専決第21号）

日程第 5 報告第 8 号の承認（専決第 2 2 号）

(3) 令和元年第 7 回定例会会議録及び令和元年第 3 回臨時会会議録の承認（日程第 1）

令和元年第 7 回伊丹市教育委員会定例会（令和元年（2019 年）7 月 18 日（木）開催）
会議録及び令和元年第 3 回伊丹市教育委員会臨時会（令和元年（2019 年）8 月 1 日（木）
開催）会議録については、全委員一致でこれを了承。

(4) 教育長報告（日程第 2）

教育総務部長より「8 月分人事報告」・「7 月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「7 月
分の寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部及び市立伊丹高等学校の、こども
未来部長よりこども未来部の、生涯学習部長より生涯学習部の、教育長付参事より人権教育室
の「7 月分行事实施報告」・「9 月分行事实施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答
の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

江 原 委 員 3 つ質問させていただく。1 つ目は、4 ページの学校指導課の 7 月行事
実施報告について。30 日（火）の第 2 回伊丹市学習状況等実態調査研究
委員会は、全国学力・学習状況調査の結果が返ってきてから初めての会と
なるが、どのような話が出ていたか教えていただきたい。

学校教育部副参事 この会では、市民向けに公表している速報値の資料以外にも、以前教育
委員の皆様に見ていただいたような詳しい資料もお示しした。本市の現状
についてご意見をいただくなかで、小学校の結果が大変厳しいものであっ
たことに対して、危機感を持った意見が現場の教員から出ていた。例えば、
情報を読み取って活用する力が育っていない、育てるような授業をしてい
かなくてはいけない、学力調査と授業内容の差が大きいのではないかと、問
題を解き進めるスピードを求めることが学校のなかで少なかったのでは
ないかというように、今後の授業改善に活かせるような意見がたくさん出
された。これを現場の声としてまた現場に返していくことが今後必要にな
ると考えている。

江 原 委 員 ありがとうございます。教員が今回の結果を受けとめて、前向きに進ん
でいこうとされている様子が分かり、大変心強く思う。私たち教育委員も
さらなる取組を進めたいと思う。

2 つ目は、31 日（水）の中学校生徒会リーダーズセミナーについて。
前半部分を見せていただいたが、生徒たちは積極的に発言していて、まと
め方も上手で、平素の授業において、学び方を学ぶ学習が大切にされてい

ると感じる事ができた。今回、その様子を見る事ができて嬉しく思う。そこで、後半部分でどのようなまとめがなされたかということと、今後の流れについて教えていただきたい。

学校教育部副参事

前半は、グループ活動を中心に今の自分にとっての伊丹の魅力や、未来に残したい伊丹の魅力について意見を交わした。後半には、それを自分事として考えて、まちのために自分はどのようなことができるか、したいかということについてまとめを行った。生徒たちが付箋に考えを書く様子は、自信に満ちていた。出された意見のなかには、地域ボランティア等に積極的に参加することで、あらゆる方々との交流を深めることにつながるというようなものもあり、大人がまねしたいような積極的な意見も出された。未来のまちのイメージを参加者で共有できたのではないかと感じている。今後は、各リーダーが持ち帰って校内で広げていくが、文化祭や学習発表会等に取り入れる学校もあると聞いている。また、市の第6次総合計画に各世代の市民ニーズが反映されていくが、中学生の想いとして簡単な形になるかもしれないが、取り入れられていくことになる。参加した生徒にとって、自分のまちの未来に目を向けて、まちづくりに参画したということは、とても大きな経験になったと思う。これからはこのような資質も大事になってくるので、学校においても学習発表会等で取り入れていくように促していきたい。

江原委員

ありがとうございます。生徒の様子を見て、非常に頼もしいと思った。今回の取組が各校に広がって、子どもたちが地域の一員としてまちづくりに関心を持つきっかけになること、また、リーダーズセミナーの取組が総合計画に反映されることで子どもたちの意欲につながることを期待する。よろしくお願ひしたい。

3つ目は、20ページの少年愛護センターの7月行事実施報告について。今年も暑さが厳しいなか、補導委員やPTA、地域の方々には、少年愛護センターとともに補導活動等に精力的に取り組んでいただいて、感謝を申し上げたい。特に問題となる事案や傾向的に多かった事案があれば教えていただきたい。

少年愛護センター所長

10日(水)の夏季全市一斉愛護パトロールや月4回実施している定例の街頭補導において、特に大きな事案はなかった。1つだけ気になる報告があったのでお伝えする。市在住の子どもかどうかわからない年齢等も不詳だが、8月1日の夜10時以降、公園にバイクで10人程度の少年が集まっていたという報告を受けた。日頃の補導活動で見かける子どもたちとは様子が

違っていたので、市外から立ち寄った可能性もある。何か大きな問題があったというわけではなく、補導委員の方に声かけをしていただき、そのときは立ち去ったということである。

江原委員 ありがとうございます。特に気になる事案はなかったということで、日頃から補導委員や地域の方が見守ってくださっているおかげだと感謝する。

川崎委員 6－1ページの総合教育センターの7月行事実施報告について。8月20日に開催された全県夏季教育委員会研修会で「小学校段階におけるプログラミング学習のねらいと先進的な取組について」を受講した。新学習指導要領では、教科の学びを活用し問題を解決するプログラミング的思考が求められるが、31日(水)のプログラミング教育研修の内容と、今後の方向性について教えていただきたい。

総合教育センター主幹 今回の研修は、関西大学の黒上教授にお越しいただき、84名もの多くの教員が参加した。黒上教授は、パソコンの技術の部分だけでなく、思考力の部分にも重きをおいた講話をしてくださった。国のプログラミング教育施策にも携わっておられることもあり、国の動向も踏まえた内容で、良い学びであったと思う。また、現在、小・中学校に出向いて出前講座を行っている。学校のパソコンルームで教員に対して研修を行い、まずは、実際に授業をする教員にプログラミング教育を理解してもらうよう取り組んでいる。今後、各校にタブレット型パソコンを導入するので、改めて学校を回り、機器の使い方を始め各教科におけるプログラミング教育についての研修を行う予定である。

川崎委員 よろしく願いしたい。

秋田委員 5つ質問等申し上げる。1つ目は、4ページの学校指導課の7月行事実施報告について。中学生英会話力向上教室の内容と参加した中学生26名の構成を教えていただきたい。

学校教育部副参事 この事業は毎年実施しているもので、年度当初に全中学校から参加者を募り、6月から1月までの間に25回実施することとしている。今年度は全ての中学校から生徒が参加している。各校3、4名ずつということで、校内で決めているが、希望者が多い場合はご相談に応じながら調整しているという状況である。指導はALTが行っており、総合教育センターにおいて、実際の会話であるとか、国際感覚も含めた広い意味での会話力を向上すべく取り組んでいる。

秋田委員 学校が3、4名を決めるということだが、ALTが対応できる範囲内と

ということもあり、受けられる人数は限られることは承知した。参加した生徒が自校で他の生徒に発表して共有するような機会はあるか。そこから「楽しかった」ということが他の生徒に伝わると、英語に対する興味につながったり、次への参加意欲につながったりすると思う。

学校教育部副参事

とりたてて何らかの発表会を設けているわけではないが、スピーチ大会や学習発表会等で英語の力を披露しているということを知っている。秋田委員にご提案いただいたように、広く発表できる場があればいいと思うので、今後検討していきたいと思う。

秋田委員

普段着の共有機会が、学校のなかで設けられたらと思う。

2つ目は、6-1ページの総合教育センターの7月行事実施報告について。19日（金）の教職員研修（非違行為防止）は、悉皆かということと内容を教えていただきたい。

総合教育センター主幹

全教職員を対象に何日か日を設定して実施した。教育総務部から兵庫県の資料を用いて教職員の非違行為防止について話し、学校教育部から子どもとの関わり方や声かけの仕方等、子どもに寄り添う指導のあり方について話した。日々の学校生活のなかでの事例を取り入れた具体的な話もさせていただいた。

秋田委員

ありがとうございます。そうすると、子どもへの指導ということがベースにある研修ということか。それとも教員が自身の行動を意識する研修か。

総合教育センター主幹

前半の教育総務部の話は、実際にあった処分の事例を示すなどして、教員としての心構えや日々の指導を見直していただくことを促すものである。学校教育部からは、教育総務部の話を踏まえたうえで、子どもの指導方法について具体的な話をした。

秋田委員

ありがとうございます。人権の観点からも非常に大切な研修だ。悉皆でして下さって、全教員が改めて考える機会を持つことができたと思う。詳しい話の内容が分からないので、的外れなことを言うかもしれないが、私の個人的な観察の結果だと思って聞いてほしい。スマートフォン上では、クリックした項目、回数、その選択でどンドン画面が変わっていく。そこでは誰も見ていないだろうと錯覚して、普段なら決して見ないようなサイトへと進んでいってしまうことがある。一度足を踏み入れると、一気にたこつぼのように入り込んでしまい、世間一般の情報から外れていってことに気が付かなくなる。おそらく教員の大半が大学を卒業してすぐに教員になっていて、なかにはそういう部分が無防備な場合もあると思う。スマートフォンの使い方によっては、自信の社会人としての情報範囲が非常に

狭くなることに気付いてもらうきっかけづくりも、今後の研修などを通じて必要になると思う。

木下教育長

ありがとうございます。

秋田委員

3つ目は、7-1ページの保健体育課の7月行事实施報告について。10日（水）の伊丹市通学路安全対策推進会議では、どのような話し合いがなされたのか、事故が続いていて、痛ましい事故もあったので教えていただきたい。

保健体育課長

今年度、安堂寺町で大きな事故があり、現場では安全柵や溝蓋を付けているところだが、それで終わりにするのはいかがなものかという意見が出ており、改めて警察や兵庫県と協議している。安全対策として、子どもたちが通る道を着色するグリーンベルトを設置したが、さらに信号や歩道を設けることができないかということも現在も協議中である。また、前回の会議であがってきた箇所についても検討を行った。具体的には、有岡小学校の通学路で地域の方からのお声があがっている箇所があり、そこを合同点検したので、その報告と今後の対策について協議した。今後も月1回の会議において協議していくこととしている。

秋田委員

ありがとうございます。今後の対策については、教育委員会からの広報等で市民の方にも知っていただくのがいいと思う。ハード面が整備されていくのと同時進行で、家庭でも保護者から子どもに話していただけるようお願い。

4つ目は、18-1ページの生涯学習関連施設利用状況一覧について。中央公民館の利用者が大きく増えていて嬉しく思う。いつも生涯学習部で企画してくださる行事は、行事名を見るだけでわくわくするものが多くて、楽しく見せていただいている。7月の一般利用が大きく増加しているが、何かきっかけがあったのか、人気の催しがあったのか教えていただきたい。

こども若者企画課長

現在、スワンホールを建て替え中で、事務局を公民館に置いて事業を行っている関係で利用者が増えていると思う。それとは別に公民館の方で利用者が増える要因があるかもしれない。

秋田委員

ありがとうございます。足を運んでくださる方が増えるとさらににぎわうのでいいことだと思う。

5つ目は、35ページの人権教育室の行事实施報告について。22日（月）の平成31（2019）年度第1回新規採用教員等人権教育研修会の内容と参加者の反応を教えていただきたい。

人権教育室主幹

人権教育指導員の田中章子さんと池田千津美さんをお招きして、同和問

題に関する研修を行った。グループワーク形式で研修していただいたが、「今まで知らなかった」という声が多く聞かれ、正しい理解につながったと考えている。

秋田委員

ありがとうございます。人権の範囲はとても広くて、主幹がおっしゃったように、同和問題は昨今は大学の授業でも比重が少なくなった。人権問題には、性差別や障がい者差別などの様々な項目があるが、新規採用の教員が意識してくださったらありがたいと思った。

木下教育長

補足させていただく。今回の研修は、差別の現実を学ぶことに重きを置いて実施した。実態を知って学びを深めることができたと思う。

私から、皆様のご質問やご意見をお聞きして情報提供したいと思うことがあるのでお話しさせていただく。まずは、4ページをご覧いただきたい。秋田委員からご質問いただいた中学生英会話力向上教室について。新学習指導要領を見ても分かるように、今、子どもたちに英語力をつけることが求められており、先日の全県教育委員会研修会においても議題として取り上げられた。全国学力調査の結果からも「話す力」に課題があることが明らかになっており、英語でコミュニケーションをとる力を付けなくてはならない。本市においては当事業を実施し、「話す力」の育成に力を入れていきたいと考えている

もうひとつは、江原委員からご質問いただいた第2回伊丹市学習状況等実態調査研究委員会について。調査は、結果を活用してその後に活かすことに実施する意義がある。今回の全国学力・学習状況調査の結果から、情報処理能力、即ち一定の時間で問題を理解して答えを導き出す力に課題があることが明らかとなった。45分という限られた試験時間で最後の問題までたどり着くためには、ある程度のスピードで解き進める必要がある。そういう力を子どもたちに付けるという観点での授業も展開していかなくてはならない。事務局は、教育長報告のなかで、委員から出た意見を現場に届けると答えたが、具体的な手段は考えているか。

学校指導課長

現在、調査結果の報告書を作成しているが、教員が報告書を見たときに、何をすべきかが分かるものにしたいと思っている。作成した報告書をもって、校長会や教頭会だけでなく、各担当者会等の様々な機会に指導主事が自らの声で現場の教員に伝えていきたいと考えている。

木下教育長

学級担任へはどのように伝えようと考えているのか。

学校教育部副参事

各学校で学力に関する研修会を実施しているので、校長と教頭、教員特に研究担当者を中心にそのようなことを伝えてまいりたいと考えている。

また、PTAに対しては出前講座を継続して行い、家庭への啓発をお願いしたいと考えている。

(5) 議案第54号の審議（日程第3）

木下教育長より「議案第54号 伊丹市立幼稚園園則の一部を改正する規則の制定について」を議題とする旨の発議の後、「令和2年度から3歳児保育を実施するほか、所要の改正を行うため、「伊丹市立幼稚園園則の一部を改正する規則」を制定しようとするものです。」との説明がなされ、こども未来部長より補足説明があり、全委員一致で、「議案第54号」を可決。

(6) 報告第8号の承認（専決第21号）（日程第4）

秘密会で審議の後、全委員一致で、「報告第8号 教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の「専決第21号 令和元年度伊丹市一般会計補正予算【教育関係費】（9月補正）の要求について」を承認。

(7) 報告第8号の承認（専決第22号）（日程第5）

秘密会で審議の後、全委員一致で、「報告第8号 教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の「専決第22号 伊丹市こども・子育て審議会委員の委嘱について」を承認。

(8) 閉会宣言

木下教育長（午後2時50分）

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育長 木下 誠

伊丹市教育委員会委員 江原 礼子